

# リアニア

～その朝カウナスへ～

内藤悠一郎

# 1.大戦の拡大

- a) 1939年3月22日ドイツはリトアニアからクライペダ州を奪取
- b) ソ連とドイツ間にリトアニアについての協定が締結
  - ア) リトアニアの運命はソ連が掌握
- c) ソ連はエストニア、ラトビア、リトアニアに軍事基地を設置
- d) ソ連はフィンランドにも設置を計画
  - ア) フィンランド拒絶

**e) 1939年12月1日ソ連とフィンランドに  
戦端が開催**

**ア) 1940年3月12日講和条約が締結**

**イ) フィンランドはカレリヤ地峡を  
ソ連に割譲**

**ウ) ハンコ半島の30年間の租借を受け入れ**

**f) ラトビアがモスクワで相互援助条約に調印**

**g) リトアニアは相互援助条約の締結  
を条件付きで提案  
ア) ソ連の守備隊の配置を拒否**

## 2.相互援助条約の問題

**a) リトアニア政府の条件案を提出**

**ア) スターリン, モロトフを説得**

**イ) スターリンは拒否**

**b) 10月9日リトアニアの代表団は交渉の経過を**

**政府に報告 → カウナスへ出発**

**ア) 副首相カジス**

**イ) 軍司令官スタシス**

**c) 10月10日リトアニア政府はソ連の要求を受諾**

**→ソ連に守備隊の駐留権利を許可**

**d) ソ連は相互援助条約の条件を変更**

**ア) 条件の有効期限が延長**

**イ) 軍隊の導入数の増加**

**e) 10月11日リトアニアは条約に調印**



**リトアニアの未来は不安**

